



いずみさの

No.183
2023.2.1

市議会だより



New Topics

泉佐野市犯罪被害者等支援条例
泉佐野市手話言語条例
を可決

目次

- ◆ 議会活動報告 2~3
- ◆ 12月定例会の結果報告 4~7
- ◆ 一般質問 8~12
- ◆ ご案内 12

本会議・委員会をインターネットで配信しています。

泉佐野市議会

検索



総務産業委員会 視察

11月15日・16日

宮城県仙台市・石巻市への行政視察を行いました。

仙台市 (アニメと観光の連携に関する取り組みや連携の経緯について)

仙台市は、地元出身の荒木飛呂彦氏の作品である「ジョジョの奇妙な冒険」の舞台《杜王町》が仙台市をモチーフにしていることなどから、アニメツーリズムに力を入れています。

東北の中心地であり、多くの漫画家が作品の舞台に仙台市をモチーフとしているため、多くのファンが聖地巡礼に訪れています。

また、震災復興支援のために創られた作品「Wake Up, Girls!」・「バクテン!!」もあり、戦略的に地域と関連したキャラクターを設定するなど、地元密着型の試みもしています。



石巻市 (アニメ・漫画の資源を活用した観光振興について)

石巻市は、1995年に当時の市長と漫画家の石ノ森章太郎氏との懇談がきっかけとなり、マンガを活用した街づくりが検討され、平成8年に石巻マンガランド基本構想が創られました。その構想を形としたものが、現在の石ノ森萬画館やマンガロードで、コロナ前には年間17~21万人が訪れていました。

アニメ・マンガは日本を代表する良いコンテンツであり、泉佐野市の観光化に向けて、独自の表現などの工夫次第で誘客につながると思いますので、今後、しっかり議論します。

厚生文教委員会 視察

11月8日・9日

石川県白山市と輪島市への行政視察を行いました。

白山市 (学力向上・学校図書館支援センター・学校図書館の取組)

「SDGs未来都市」に選定されている白山市では、白山市SDGs推進事業として全小中学校で自然環境に関する課外学習を取り入れながら、学校図書館教育の充実を図っています。具体的には、学校司書を全27校に配置、学校図書館支援センターの設置による市立図書館との図書相互配送、授業での学校図書館活用を推進することで、年間平均貸出冊数を平成21年度と令和3年度で比べると、小学生で72.5冊から134.0冊に、中学生で21.6冊から39.0冊に増加しています。



輪島市 (生涯活躍のまちづくり・輪島KABULET)

全国の地方が抱える少子高齢化、過疎化、空き家増加の課題解決のため、輪島市と日本版CCRCの先駆的な取組を行っている社会福祉法人佛子園が青年海外協力協会との協働の下、市街地中心部に点在する空き家や空き地を活用し、子どもから高齢者、障がい者、国籍等にかかわらず様々な人達が“ごちゃまぜ”に関するための多世代交流施設や福祉施設等の機能をまちの中に点在させるプロジェクトを展開し、移住者・雇用手・交流(関係)人口の増加を図っています。

※CCRC:「Continuing Care Retirement Community」の略称で、高齢者が健康な段階で入居し、終身で暮らすことができる生活共同体のこと。

議会による行政評価

10月25日

議会による行政評価は適正な行政運営の確保に努めることを目的に、市が実施している政策、施策、事務事業等について、有効性、効率性、必要性等の観点から評価をします。

令和4年度は「中学校管理運営事業」・「小学校管理運営事業」についての評価を行い、評価結果を市長に提出しました。



こども議会報告

11月14日

令和4年8月7日に開催した「第4回みらい泉佐野こども議会」では、参加者の児童からは日頃感じている率直な質問や意見を、傍聴者からはこども議会に対する感想などを多数いただきました。

これらの貴重な意見や感想を取りまとめた報告書を市長と教育長（教育部長代理出席）に提出しました。



関空りんくうまちづくり特別委員会 視察

11月17日

新たにオープンした関西国際空港第1ターミナルビルの国内線エリアを視察しました。

新国内線エリアの改修にともない、各航空会社のチェックインカウンター、出発口・到着口等の位置が変更となり、新たに保安検査機スマートレーンも導入され、保安検査後の商業エリアもオープンしていました。

関西国際空港の玄関都市としてのまちづくりに繋がっていきたいと思います。



議会豆知識



これまでのこども達の要望の中には、各小・中学校内のプール建設などがありました。

議会進行は泉佐野市議会本会議と同様の形式で行われ、こども達にとっても貴重な経験の場となっております。

「新型コロナウイルス感染症」による緊急事態宣言などで、開催できない年もありましたが、令和4年度に第4回を開催しました。

こども議会

こども議会は「主権者教育」の一環として、また、こども達の素朴な意見や考えを聴くという目的で、泉佐野市議会の主催で平成29年から始めました。

12月定例会議を開催

議案
第70号

泉佐野市犯罪被害者等支援条例 制定について

可決
全会一致

犯罪被害者等が受けた被害の回復や軽減を図り、市民の皆さんが安心して暮らすことができる地域社会の実現のための施策を実施するための条例を制定。

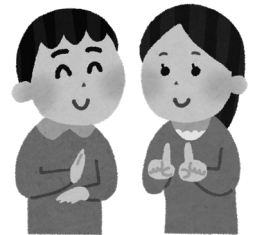


議案
第85号

泉佐野市手話言語条例制定について

可決
全会一致

市が手話が言語であることの認識に基づき、手話への理解と普及をもって地域で支え合い、手話を使って安心して暮らすことができる社会をめざすための条例を制定。

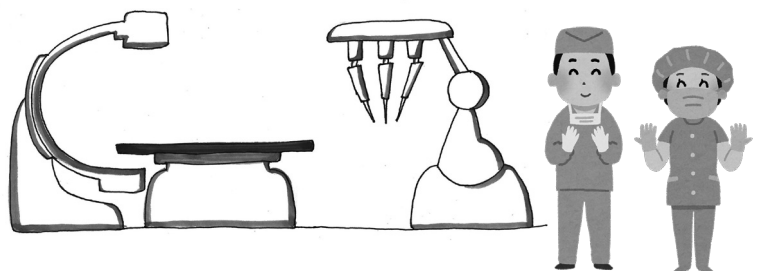


議案
第86号

地方独立行政法人 りんくう総合医療センターの第3期 中期計画の変更の認可について

可決
全会一致

手術室増室工事に併せたハイブリッド手術装置 2億7,500万円及び手術支援ロボットの整備 3億7,900万円を第3期中期計画の事業予定総額への追加変更を認可。



議決結果一覧表

全会一致で可決された案件

議案番号	案 件
議案第71号	泉佐野市個人情報の保護に関する法律施行条例制定について
議案第72号	泉佐野市情報公開・個人情報保護審査会条例制定について 泉佐野市情報公開審査会と泉佐野市個人情報保護審査会を統合し、新たに行政不服審査法に基づく泉佐野市情報公開・個人情報保護審査会を設置するための条例を制定する議案。
議案第76号	職員の給与についての条例等の一部を改正する条例制定について 令和4年8月の人事院勧告に基づいて、職員の給与についての条例等の一部を改正する議案。
議案第77号	職員の高齢者部分休業に関する条例制定について 職員の加齢による諸事情への対応等を想定し、1週間当たりの通常の勤務時間の2分の1まで部分的に休業をとれる制度を設け、高齢者が働きやすい環境を整備するための条例を制定する議案。
議案第78号	職員の退職手当についての条例の一部を改正する条例制定について 定年延長に係る地方公務員法の改正に伴い、退職手当についての条例の一部を改正する議案。
議案第79号	職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例制定について 定年延長に係る地方公務員法の改正に伴い、職員の定年年齢を65歳に改正する議案。
議案第80号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について 定年延長に係る地方公務員法の改正に伴い、関係条例を整備する議案。
議案第81号	大阪府都市競艇企業団規約の変更について関係市と協議することについて 大阪府都市競艇企業団の名称を「大阪府都市ボートレース企業団」に変更することについて関係市と協議するための議案。
議案第82号	泉佐野市の議会議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例及び泉佐野市の議会議員及び長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第87号	損害賠償の額を定めること及び和解について 公用車の交通事故について、相手方と損害賠償額を定め和解する議案。

議案番号	案 件
議案第89号	令和4年度泉佐野市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
議案第91号	令和4年度泉佐野市水道事業会計補正予算(第1号)
議案第92号	令和4年度泉佐野市一般会計補正予算(第10号)
議員発議第24号	知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書

議案第70号、85号、86号は4ページをご覧ください

表決が分かれた案件

議案番号	案 件	結果
議案第68号	泉佐野市立北部市民交流センター及び泉佐野市立北部公民館の指定管理者の指定について 令和5年4月1日から令和10年3月31日までの期間の指定管理者を指定する議案。	可決
議案第69号	泉佐野市立南部市民交流センターの指定管理者の指定について 令和5年4月1日から令和10年3月31日までの期間の指定管理者を指定する議案。	可決
議案第73号	泉佐野市情報公開条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第74号	特別職の職員で常勤のものの給与についての条例の一部を改正する条例制定について 人事院勧告に伴う特別職の職員に関する給与の変更について条例の一部を改正する議案。	可決
議案第75号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等についての条例の一部を改正する条例制定について 人事院勧告に伴う議会の議員の期末手当の変更について条例の一部を改正する議案。	可決
議案第83号	泉佐野市立鶴原共同浴場の指定管理者の指定について 令和5年4月1日から令和10年3月31日までの期間の指定管理者を指定する議案。	可決
議案第84号	泉佐野市立樫井共同浴場の指定管理者の指定について 令和5年4月1日から令和10年3月31日までの期間の指定管理者を指定する議案。	可決

議案番号	案 件	結果
議案第88号	令和4年度泉佐野市一般会計補正予算(第9号)	可決
	歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ10億3,768万6千円を追加する議案。主な内容は利用者的大幅な増加による障害者共同生活援助等事業に1億1,747万9千円、重度心身障害者へのタクシー利用料金補助として障害者地域生活支援事業に183万2千円、妊産婦タクシー利用支援事業に395万、生活保護事業に1億2,682万3千円、夜間中学校整備事業に906万3千円、債務負担行為として共同浴場指定管理委託料1億2,466万円など。	
議案第90号	令和4年度泉佐野市りんくう公園事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議員発議第22号	泉佐野市議会の個人情報の保護に関する条例制定について	可決
議員発議第23号	带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書	可決



議案の賛否 表決が分かれた案件の賛否一覧です

議員名 議案名	新緑未来		正道の会	チーム泉佐野創生			大阪維新の会				再生市民の会	自民党		共産党	公明党			
	中藤大助	布田拓也	中村慎作	向江英雄	大和屋貴彦	野口新一	新田輝彦 議長	日根野谷和人	射手矢真之	峰浦修平	中庄谷栄孝	西野辰也 副議長	高橋圭子	高道一郎	岡田昌司	辻中隆	大庭聖一	松村正秀
議案第68号	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第69号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第73号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第74号	○	○	○	○	○	○	—	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第75号	○	○	○	○	○	○	—	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第83号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第84号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第88号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第90号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議員発議第22号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議員発議第23号	○	×	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長は賛否同数のときのみ表決し、議案の可否を決定します。 ○：賛成、×：反対

一般質問

議員が市の一般事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問します。泉佐野市議会では、議員一人あたりの質問時間は答弁を含めて30分で、会派を代表して行う代表質問は所属議員の人数分の時間を使うことができます。



▲議会中継のQRコード



各議員の一般質問の内容は、本会議での発言を要約しています。質問の全内容は、インターネットで泉佐野市議会ホームページの「議会ライブ中継・録画配信」または「会議録検索」（2月末日配信予定）をご覧ください。

チーム泉佐野創生 代表
野口 新一 議員



・新型コロナウィルスとの共生に向けて
・地域との共生で幸福を生みだす地域福祉に向けて
・子どもたちが輝ける居場所づくりに向けて

発熱救急患者の受け入れ体制について

Q 現在、第8波の到来と季節性インフルエンザの流行の時期に入っています。大阪府はこれらの懸念される状況に備え、各自自治体に少なくとも一箇所の発熱外来を整備するように要請していますが、本市の状況をお尋ねします。

A 大阪府からの要請を受けて、本市以南の3市3町と泉佐野泉南医師会との協議の結果、泉州南部初期急病センターでは、これまで同様、医師会・薬剤師会の協力により休日や年末年始の診療を継続することに加え、本市以南の3市3町の地域では、泉佐野市・田尻町の1市1町、熊取町の1町、泉南市・阪南市・岬町の2市1町の3ブロックに分け、各ブロックの医療機関が輪番で臨時発熱外来を開設します。また、開設された発熱外来を市ホームページで公表するほか、大阪府の救急ナビダイヤルや小児救急電話相談のリンクを貼るなど市民に周知します。

家庭児童相談室相談員の正職員化について

Q 昨今の深刻な児童虐待による死亡事案等につながりかねない様々な相談が寄せられる家庭児童相談室では、迅速かつ的確な対応が求められますが、現在の児童相談件数及び相談室の体制についてお尋ねします。

A 本市の家庭児童相談室が受けた児童虐待相談件数は、令和3年度959件、令和2年度1193件、令和元年度1106件で、依然として相談件数の多い状況が続いています。令和3年度の内訳は、ネグレクトが459件で47.9%、心理的虐待が318件で33.1%、身体的虐待が182件で19%となっています。次に、現在の相談室の体制は、課長級職員1名、課長代理級職員1名、保健師の係長級職員1名、家庭児童相談員として、フルタイム会計年度任用職員3名、パートタイム会計年度任用職員1名の計7名体制で運営しています。

子育て・教育総合支援センター機能の拠点について

Q 来年度政府は「こども家庭庁」を設置します。本市でも子育て、教育、児童福祉など様々な課題に横断的かつ迅速に対応し、教育の質を高める研修なども行える総合的機能を有する拠点整備が必要と考えますが、いかがでしょうか。

A 子育て・教育総合支援センターは、教育センター機能と子育てや保育の支援センターの機能を合わせ持ち、子どもに関する支援をワンストップで行える施設です。教育と福祉の連携・協働は、子どもたちの健全育成に不可欠と認識しています。ハード面や人材確保の面などでの課題もあります。本市としては、今後、現状において可能な、教育と福祉の連携・協働を進めるとともに、子育て・教育総合支援センターについては、研究と検討を進めていきます。





- ・グレーターミニナミ活性化について
- ・地域猫活動について
- ・障がい者支援について
- ・学校教育について
- ・市民の法律相談について
- ・いじめ問題について
- ・広域連携行政について

グレーターミニナミについて

Q 大阪商工会議所が提唱する「グレーターミニナミ」について、本市の強みを生かして定住促進に向けてどのように取り組まれるか。

A 大阪商工会議所は、大阪都心南から泉州・南河内地域にかけての「グレーターミニナミ」の活性化をめざすとしています。大阪南部の活性化は本市の課題でもあり、引き続き、商工会議所から情報提供を受けて、泉州地域都市制度勉強会を通じて情報交換を行い、地域の活性化につなげていきます。

地域猫活動について

Q ボランティア団体が主体となっていて、本市の見解を伺う。

A 本市では、野良猫の不妊去勢手術の後、元の地域での適正管理により、地域から野良猫を減らしていく活動をボランティア団体に主体的に取り組んでいただいています。市では、「公益財団法人どうぶつ基金」に不妊去勢手術の行政枠無料チ

ケットを申請し、ボランティア団体に引き渡すなどの支援を行っています。

Q 地域猫活動への理解が必要な中で、周知・啓発をどのように行っていくのか。

A 地域猫への理解を深めてもらえるよう、広報やホームページで、地域猫についての考え方や餌やりのルールなどについて周知・啓発しています。



障がい者支援について

Q 障がい者の社会参加に向けた本市の取り組みについて伺う。

A 法に基づく障害福祉サービスとして、一般企業等での就労が困難な方が支援員の支援により袋詰めやタオル畳みなどの作業を行う「就労継続支援」、一般企業等での就労を希望する方に作業訓練等の支援を行う「就労移行支援」を行っています。就労支援以外では、鉄道・バス等の運賃や公共施設での割引などの

ほか、余暇活動等の付き添いヘルパーを派遣する移動支援サービスなどがあります。

学校教育について

Q 経済格差による教育格差の是正のための本市の取り組みについて伺う。

A 今年度から小中学校の「就学援助制度」の所得基準を生活保護基準の1.5倍から2倍に緩和しました。また、令和元年度から、高校・大学等についての「奨学金貸付制度」に加え、市立中学校3年生の高校進学費用の一部を給付する「給付型奨学金制度」を実施し、コロナ禍の令和2年度・3年度は対象者を50人から100人に拡充、今年度は給付型奨学金に替えて、中学校3年生の全生徒を対象に10万円の給付事業を実施します。

市民の法律相談について

Q 日常のお悩みを相談できる法律相談窓口の利用方法と解決できなかった場合の流れ、他の公的サービスとの繋がりについて伺う。

A 無料法律・労働相談は、事前に入権推進課への申込が必要で、また、解決できなかった場合にはご利用いただけるよう、法テラスや大阪弁護士会のリーフレット、各種法律相談に関する資料を人権推進課の窓口にご用意しています。



いじめ問題について

Q 全国的にもいじめの認知件数は年々増加している中で、本市のいじめ問題の対応といじめ防止に向けてどのように取り組まれているか。

A いじめの重大事態が発生した場合、「いじめの防止等に関する条例」や学校の「いじめ防止基本方針」に沿って、市長への報告、事実関係の調査、被害児童等や保護者への情報提供等を行います。いじめ防止の取組としては、様々な方法による教職員研修、各校のいじめ防止の取組の内容や方法について教育委員会による確認や指導助言などを行っています。



・福祉に力
・健康に力
・設備に力

手話言語条例の制定と取組

Q 「手話は言語である。」手話言語条例制定は、手話を広げ、全ての人が共に認め合い支え合う社会を実現する、更なる第一歩と考えます。本市が実施している手話に関する施策と課題、そして今後の取組についてお聞かせ下さい。

A 本市が行っている施策の主なものとしては、市障害福祉担当窓口での手話通訳者の配置、手話通訳者の派遣、登録手話通訳者研修、聴覚障害者成人講座、手話奉仕員養成講座の開催の5つです。

現状の主な課題は、市窓口設置の手話通訳者が常時いない日や時間帯があること、手話通訳の担い手不足、手話奉仕員養成講座の受講者の減少、手話に対する理解が十分には浸透していないことなどがあります。

今後、本市手話言語条例を市民に周知し、様々な場での手話を学ぶ機会の拡大や担い手不足を解消するための講座開設を検討します。

交通弱者の方への支援

Q 12月議会で重度障害者、妊産婦の方のタクシーチケット助成が可決。70歳以上の高齢者の希望者の方にもタクシーチケット助成できないか。また、免許証返納時に「さのぽ」10万ポイント付与されています、今後タクシーチケットと併用できないでしょうか。

A 高齢者へのタクシーチケットの助成は、対象人口が約2万人と規模が大きく、デマンド交通や路線バスとの競合が考えられますので、今後設置する地域公共交通会議等で協議し、デマンド交通の導入の可能性検討と併せ検討します。

運転免許証自主返納者への「さのぽ」とタクシーチケットを併用した付与については、運転免許証を返納された方の意見を反映し、タクシーチケットの需要を見極めたうえで、付与割合等を検討してまいります。



0〜2歳児に対する本市の施策について

Q 子育て支援について「出産・子育て応援交付事業」が創設、今まで支援が手薄とされた0〜2歳児に焦点を当てた施策と伺いました、本市の支援の状況と今後の取組についてお聞かせ下さい。

A 本市では、地域型包括支援センターにおいて妊娠・出産に関する相談を行い、必要に応じて保健師が訪問し、子育てに関する情報提供を行う「こんにちは赤ちゃん事業」をはじめ、各種健診を実施しており、子育て支援センターにおいて子育て支援事業や子育てに関する講座を開催しています。また、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、「いずみさの新生児臨時特別給付金」など市独自の経済的支援も行っています。今後も、妊娠時から出産・子育てまで一貫した「伴走型相談支援」体制の確立に努めると

ともに、「経済的支援」の充実を図ってまいります。

带状疱疹ワクチンの助成

Q 带状疱疹は、50歳以上から増加し、80歳までに3人に1人が発症するといわれており、発症予防にはワクチンが有効とされていますが、高額のため、断念される方もおられると考えます。接種費用の負担軽減のため、助成すべきと思いますが、いかがでしょうか。

A 带状疱疹ワクチンの接種は、現在50歳以上の方に対する任意接種です。国では、定期接種化の議論がされており、令和2年1月の第37回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会の資料によると、「引き続き、期待される効果や導入年齢に関しては検討が必要」としてあります。本市としては、带状疱疹ウイルスに感染しても発症しないよう、体調管理に努めるよう啓発するとともに、带状疱疹ワクチン接種助成について、引き続き国などの動向を注視し研究してまいります。

新緑未来 代表

中藤 大助 議員



地方創生について

Q 人口減少化社会に入り、持続可能な都市にするために「定住・移住」の促進は不可欠ですが、その前施策として、「交流、関係人口」の創出に対する取組みが必要です。今後の市としての施策についてお尋ねします。

A 観光等で人が訪れるための交流人口拡充の取組みとして、三つの日本遺産、地域の伝統文化、野外音楽堂、恋人の聖地などの活用で観光資源の創出に努めています。今後も本市の地域資源の特性を積極的にPRし、泉佐野市と言えれば〇〇という代名詞的な存在を育てていきたいと考えます。

本市と継続的に関わりを持つ関係人口創出の代表的な取組みは東京いずみさの会です。首都圏に在住する泉佐野を愛する会員で構成し、ネットワークを作り、交流を深めながら、泉佐野市のPRと応援を行っています。今後も積極的にシテイプロモーションを進めてまいります。

・地方創生について
・行政の業務継続計画について
・特殊詐欺について

行政の業務継続計画について

Q 未曾有の自然災害が発生した際、行政としては被災後の支援対策が最優先されますが、災害対応業務と通常業務をどのように遂行していくのでしょうか？

A 平成28年度に「泉佐野市業務継続計画」を策定しました。この計画では、業務を災害対応業務と優先的通常業務に分け、市民の命をつなぐ災害対応業務を第一優先とします。次にライフライン維持のための業務の継続、災害対応業務のマンパワー確保のため、通常業務は可能な限り停止または縮小することを基本としています。

災害対応業務と通常業務のバランスが重要で、発災直後は災害モードを宣言し、可能な限り通常業務を停止します。一般職員は、まず、災害対応業務に注力し、通常業務は優先順位を付け、徐々に再開いたします。



自由民主党

泉佐野市会議員団 代表

高橋 圭子 議員



水洗便所改造奨励金について

Q 下水道へ接続する改造工事費が高い等の理由から、水洗化できない家庭があります。水洗化促進の為に水洗便所改造奨励金の増額が必要ではないかと思いますが、お考えをお聞かせください。

A 水洗便所改造奨励金は、水洗化率向上に向けた取組みとして、平成3年度の供用開始時点から行っている施策です。下水道が使える区域の中で汲み取りの便槽や浄化槽を廃止し、公共下水道へ接続する敷地内の排水整備工事を、供用開始の公示日から3年以内に完了された場合に改造工事1件につき5万円を奨励金として交付します。制度ができた約30年前から奨励金の金額は変わりありませんが、改造工事費用は資材や人件費の上昇により高くなり、経済的に改造工事が困難なケースも増えていると推測されますので、奨励金の増額について検討を進めます。



・水洗化工事について
・泉佐野元氣塾（音楽介護予防教室）について
・eスタジアム泉佐野（eスポーツ施設）について

eのぼポイント付与の引き上げについて

Q 元氣塾の参加時に付与される、eのぼポイントが少なく、貯まりにくいとお声をいただきました。ポイントを貯める楽しみや意欲向上のために、ポイントの引き上げを行なっていただけませんか？

A 泉佐野元氣塾は、本市に居住する介護保険被保険者を対象に、現在、町会・自治会館49か所と公民館などの公共施設7か所の計56か所で実施しています。高齢者の孤立・引きこもりの解消、筋力や活動が低下しているフレイル状態の解消、町会館等の有効活用と地域コミュニティの活性化を図ることを目的としています。

参加費は無料で、1回参加することにより「さのぼ」50ポイントを受付の際に持参されたさのぼカードに付与する仕組みです。参加される市民の方々の意欲向上につながるよう、ポイントを引き上げる方向で検討いたします。

中村 慎作 議員

・飲食店による食文化・産業・歴史の発信について
・海を守り活かした市内内外の方々の絆（Bonds）



飲食店を地域の語り部に

Q 空港島や市内外と本市の食文化・産業・歴史をつなげる施策を

A 地域の食材を活用したメニューの企画開発と飲食店への誘客・回遊することを狙いとした「ちぬうみ井スタンプラリー」等、地元食材の魅力をPRし、国内外の観光客を当市へ誘客するため「フードツーリズム事業」を展開しています。また、市報や市のLINEのほか空港への主要な交通手段となる鉄道でのPR等も行っています。

海を守り活かす絆づくりを

Q 子供達や若者に本市の海や漁業の強みや課題を共有し、絆作りを

A 地引網による漁業体験を通して漁業の理解を深め、海と魚介類への関心を広げ、郷土愛を育める取り組み等を実施しています。

Q 海を守り、漁業、鮮魚店、飲食店の願いが一致したブランドや料理を市からアピール出来ますか。

A 希少価値の高いものを一定数確保できる取り組みを支援し、ブランディング化を検討します。

その他の一般質問

中庄谷 栄孝 議員

・園児送迎事故防止について
・市役所の休日窓口開設要望について

高道 一郎 議員

・中小学校の給食費、「令和5年度も無料」の予算組を
・保健センター（健診センター）の建て替えを求める

意見書・決議

2件の意見書を採択し、関係機関へ送付しました。

知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書
全会一致
送付先 厚生労働大臣

带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書
賛成多数
送付先 財務大臣、厚生労働大臣



表紙の写真



一般社団法人部落解放・人権研究所 名誉理事 友永健三氏を講師に迎え、「泉佐野市民の人権に関する意識調査」〈令和3（2021）年10・11月実施〉について、結果の分析をしていただきました。

市議会だより編集委員

委員長 野口新一
副委員長 松村正秀
中藤大助
射手矢真之
中庄谷栄孝
高橋圭子

市議会を傍聴しませんか

◆3月定例会の日程表◆

- 3月1日(水) 本会議(議案説明)
- 3月3日(金) 総務産業委員会
- 3月6日(月) 厚生文教委員会
- 3月9日(木) 予算特別委員会
- 3月10日(金) 予算特別委員会
- 3月13日(月) 予算特別委員会
- 3月14日(火) 関空りんくうまちづくり特別委員会
- 3月15日(水) 行財政委員会
- 3月16日(木) りんくう総合医療センター対策委員会
- 3月22日(水) 本会議(一般質問)
- 3月23日(木) 本会議(一般質問)
- 3月24日(金) 本会議

※本会議及び委員会の傍聴につきましては、新型コロナウイルスの感染対策のため、状況により傍聴中止や席の間隔をあけていただくなどのご協力をお願いすることがあります。市議会のホームページをご覧ください。事務局までお問い合わせください。

※午前10時開会予定です。ただし、14日につきましては、午後1時開会予定です。なお、日程は変更することがあります。

※手話通訳を希望される方は、議会事務局までお問い合わせください。